

ユーザーに聞く ブルームバーグFXソリューションの魅力 一台で何でもできる必要不可欠な総合端末

J-MONEY東京外国為替市場調査において、ブルームバーグは9年連続で「金融情報サービス会社」部門の1位を獲得。長年にわたり選ばれ続けるブルームバーグのFXソリューションの魅力とは？1997年よりブルームバーグを利用してきた常陽銀行市場金融営業グループ主任調査役の飯島寛志氏に聞いた。



——日々の業務にどうブルームバーグを活用しているか。

飯島 我がグループの業務は外国為替、商品勘定の有価証券売買、デリバティブ売買の3チームで構成されている。プライシングや情報収集、市況分析、行内外に発信する資料作成など、ほぼすべての業務に活用しているといっても過言ではない。

基本機能として操作性が優れていることに加え、やはり取引機能が充実している点がブルームバーグの魅力だ。



常陽銀行
市場金融部
営業グループ
主任調査役

飯島 寛志氏

とくに同じプラットフォームの中で国債先物の売買システムを併用できることはありがたい。当グループでは基本的にFXでも債券先物でもデリバティブでも、全トレーダー

が何でも自由に取引できる体制を敷いている。地銀の市場部門のトレーダーはメガバンクほど業務が細分化されていないケースが多く、目前の情報端末に複数のトレードシステムを各々配備できるのは大きなメリットではないか。

——電子取引システム「FXGO」の業務上の位置づけと活用メリットは。

飯島 外国為替の総合持ち高を管理するトレーダーにとって、必要不可欠の機能だ。電子ブローキングシステムと並んで、主要な取引ツールの位置づけとなっている。ワンクリックでプライスをヒットできるなど操作の俊敏性も高く、純粋な自己トレーディングにも活用している。

外貨投資がより一般的になり、外国為替売買のすそ野が広がるなかで、収益安定のため、よりきめ細やかな市場カバー取引が求められる。個別の指値取引などの依頼も多く、日中のリープオーダーなどのニーズに機動的に対応するためにも、ブローカー取引と少額から

レード可能なFXGOを組み合わせたことが効果的と考える。

——今後の改善点は。

飯島 次々と機能が追加されるのありがたい一方で、なかなか使いこなせていない部分もある。ユーザーが求める機能を簡単に見つけられるようなツールがあると良いのではないか。

——ブルームバーグの為替ソリューションを活用してきた感想を。

飯島 私が初めてブルームバーグに触ったのは1997年。昔は分析機能が強みという印象だったが、今では分析機能と取引執行機能、コミュニケーションツールがバランス良く融合しており、一台で何でもできる総合端末としてのイメージが定着している。IT技術の向上という側面もあるだろうが、やはりブルームバーグの自由な発想が積み上げてきた賜物ではないかと思っている。これからも新しい発想で、便利で楽しい機能をどんどん提供していただきたい。

外国為替業務の円滑な実行をサポート

多様な市場環境の影響を受ける外国為替市場の分析には、多岐にわたる市場データへの素早いアクセスが欠かせない。類似した過去の事例を検証するには、長期間のヒストリカルデータも必要だろう。また、これらの広範囲のデータをどのように市場予測に役立てるのか、幅広いアイデアを獲得することも重要だ。

最近、日本の顧客から問い合わせが多いのは、通貨オプションを使った仕組み予約のプライシングを迅速に行う方法について。ブルームバーグの通貨オプション計算機能OVMLのカスタムストラテジーは、こうした仕組み予約の計算に最

適な機能として開発した。

より複雑なデリバティブにも柔軟に対応できる「デリバティブライブラリー」の提供もスタートした。海外の先進的なデリバティブのモデルを日本の顧客に提案できる点は、世界中に拠点網を持つ当社ならではの強みだ。

ブルームバーグが提供する為替ソリューションの強みは、シームレスな取引執行を実現する電子取引機能に加え、分析機能やニュース、データが一体化している点にある。また、流動性を集約して最良価格を確実に入手することが可能。バイサイド、セルサイドともに手数料無

料で利用できることも大きなメリットだろう。

事業法人向けの新サービスとしては、当社初の本格的キャッシュ管理システムの導入準備に入っている。「トレジャリーリスクマネジメントシステム (TRM)」を用いることで、企業財務戦略の最適化を検討する企業の支援を行いたい。



ブルームバーグL.P.
在日代表
石橋 邦裕